

子育て家庭を応援します。

● 毎月19日は「育児の日」!!



育児の日イベントで子どもたちとダンス

県では、毎月19日を「育児の日」として、妊娠中の方や子どものいる世帯を地域全体で応援する気運を盛り上げていくこととしています。

県民一人一人が「家庭」や「地域」、「職場」で子育てを支えていく取り組みを積極的に行いましょう。

子育て応援します!

子育て支援の取り組み

家庭で

【ゆとりと安らぎのある家庭づくり】

- 早めに帰宅し、家族そろって食事をしましょう。
- 子どもに本を読み聞かせてあげましょう。
- 子どもと一緒に風呂に入りましょう。
- 学校などの行事に積極的に参加しましょう。
- 子育て支援パスポートを積極的に活用しましょう。

地域で

【子育て家庭と自治会や商店街などの連携】

- 交通事故や犯罪にあわないよう、子どもたちの安全を見守りましょう。
- 乳幼児を連れた方や妊娠中の方に席を譲りましょう。
- 多世代交流などで子どもたちに自然や地域の伝統を生かした体験をさせましょう。
- 子育て支援パスポートの協賛店に登録しましょう。

職場で

【子育てと仕事を両立させやすい環境づくり】

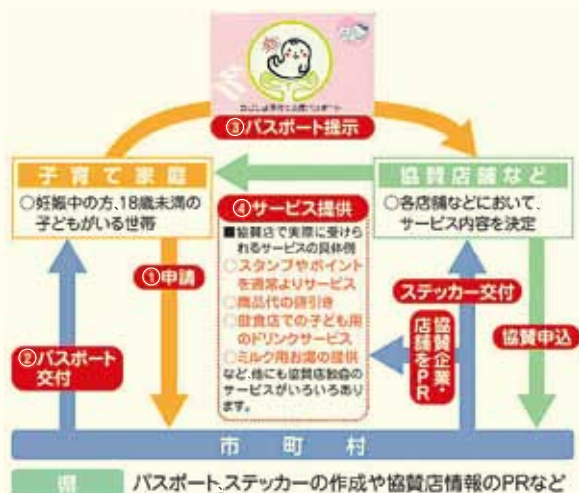
- ノー残業デーを設けましょう。
- 年休取得促進日を設けましょう。
- 子どもたちが職場を見学する機会を作りましょう。

*「育児の日」協力企業を募集しています。
詳しくは、県ホームページをご覧ください。

ホーム>健康・福祉>青少年・子ども>少子化対策事業>「育児の日」協力企業の募集・紹介!



● かごしま子育て支援パスポート事業



かごしま子育て支援パスポート事業とは?

妊娠中の方や子育て世帯の負担を軽減するとともに、地域全体で子育てを応援する気運を盛り上げるため、協賛企業の協力を得て、市町村と県が共同で取り組んでいる事業です。

事業に協賛する企業や店舗が、パスポートを提示した方に、割引や独自の優待サービスなどを提供することで妊娠中の方や子育て世帯を応援します。

パスポートを利用するには

お住まいの市町村の窓口で申請していただく、県内のすべての協賛店で利用できる共通のパスポートが交付されます。

詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

事業実施市町村…34市町村(平成23年8月1日現在)

鹿児島市・鹿屋市・枕崎市・阿久根市・出水市・指宿市・西之表市・垂水市・薩摩川内市・日置市・曾於市・霧島市・いちき串木野市・南さつま市・志布志市・奄美市・南九州市・伊佐市・始良市・三島村・十島村・さつま町・長島町・大崎町・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町・屋久島町・龍郷町・喜界町・伊仙町・和泊町・知名町

【問い合わせ先】

県庁青少年男女共同参画課 ☎099-286-2778

協賛店は共通ステッカーを目印にしています。

協賛店舗、協賛内容の一覧は、県ホームページを毎月更新していますのでご覧ください。(鹿児島市、鹿屋市、霧島市のホームページにもリンクしています)

このステッカーが目印!



携帯からもアクセス!

県ホームページ ホーム>健康・福祉>青少年・子ども>少子化対策事業>かごしま子育て支援パスポート事業
協賛店舗数 1680店舗(平成23年8月1日現在)

かごしま子育て応援企業を募集します！

● かごしま子育て応援企業登録制度

「かごしま子育て応援企業登録制度」とは

県内企業の子育て支援を促進するため、従業員の仕事と子育ての両立支援に取り組む企業を「かごしま子育て応援企業」として県が登録する制度です。

平成23年8月1日現在の登録企業は107社で、県のホームページや広報誌などで広く県民の方々に紹介しています。

平成20年度の制度創設時から登録している公益財団法人慈愛会は、次世代育成支援対策推進法の施行前から職員のワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいます。

具体的には、育児休業制度、育児短時間勤務制度、短時間正職員制度の導入、年次有給休暇の時間単位の付与、院内保育所の設置などを進め、その後も、院内保育所の利用対象者や利用時間の拡充などの改善を図っています。

ワーク・ライフ・バランスの取り組みの成果

医療機関において、安全で質の高い医療・看護を提供するためには、国家資格を有する人材の確保、さまざま

経験を有する職員の離職防止は欠かすことはできません。慈愛会事務局総務部の新村増美さんと今村病院分院総務課の秋廣定也さんは、「ワーク・ライフ・バランスは、働く者にとって、魅力ある職場、長期間にわたって働ける職場づくり、人材の確保・定着に相応の成果がありました」と話します。

院内保育所を利用した経験を持つ今村病院分院の看護師西方朝子さんは、「安心して子どもを預けられる院内保育所の存在が、就職を決めた大きな要因です。今では小学生の子どもも、当時、たくさんのお友達に囲まれて楽しそうでした」と話してくださいました。



院内保育所での様子

上司や同僚の後押しで育児休業を取得

今村病院分院の臨床工学技士の今

村淳さんは、第一子出産後の体調管理に苦労された奥様を気遣い、第二子出産の際に初めて育児休業を取得しました。当初は、「同僚に迷惑がかかるのでは」と迷ったそうですが、上司や同僚の後押しで取得を決意。「協力してくれた方々に感謝し、後輩にもつなげていきたいです。核家族が増えている中で、父親の子育て参加は不可欠だと思います」と話してくださいました。

看護師の勤務ローテーションを管理する立場の今村病院分院の看護部長今吉和子さんは、慈愛会が各種制度の利用者などを対象に実施したアンケート調査の中に、「正直なところ、同僚の育児休業取得を聞くと『忙しくなるなあ』と思っていたが(自身の取得を機に)今後は同僚の育児休業取得を応援していきたい」との回答があり、「うれしかった」と話してくださいました。



育児休業取得後に職場復帰した今村淳さん

登録するには？

これが登録マークだよ！

【登録基準】

- 一般事業主行動計画(次世代法に基づく。)を策定し、労働局に届け出ていること。
- 県において、計画に定めた内容を公表することについて同意していることなど。

【登録手続など】

- 登録企業の情報および登録するための手続きなど、詳しくは県のホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

ホーム>雇用・労働>かごしま子育て応援企業制度

県庁雇用労政課 ☎099-286-3014

かごしま子育て応援企業登録数の推移

単位:件

